

講演プログラム

2017年11月20日版

12月2日(土)

A室(213教室:2F)

9:10~10:25

A-1 情報技術と Well-being

オーガナイザ: 安藤 英由樹

A-1-1 脳機能イメージングによる瞑想状態の特徴抽出と検出

○日和 悟 (同志社大学), 廣安 知之 (同志社大学)

A-1-2 Well-being のためのウェアラブル情報提示技術

○寺田 努 (神戸大学)

A-1-3 Wellbeing を促進する情報技術の検討

○安藤 英由樹 (大阪大学), 渡邊 淳司 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所), チェン ドミニク (早稲田大学), 青山 一真 (明治大学), 坂倉 杏介 (東京都市大学)

15:00~16:40

A-2 一般講演 1

座長: 角埜 恭央

A-2-1 確率的潜在意味解析法 (PLSA) による健康行動促進モデル構築に向けた健康関連データの分析

○松尾 亮輔 (北陸先端科学技術大学院大学), 金井 秀明 (北陸先端科学技術大学院大学), 小坂 満隆 (北陸先端科学技術大学院大学), 高安 剛 (株式会社インテック), 関口 志穂里 (株式会社インテック), 村元 浩 (株式会社インテック)

A-2-2 交通系社会インフラサービスにおける提供者と利用者の SLA に関する考察

○鈴木 雅彦 (北陸先端科学技術大学院大学), 小坂 満隆 (北陸先端科学技術大学院大学)

A-2-3 インバウンドを想定した大規模災害の対策について(1)

○天野 徹 (明星大学)

A-2-4 サイバーセキュリティコミュニケーションに関する日韓比較研究

○趙 章恩 (東京大学)

9:10~10:50

B-1 ミクロとマクロをつなぐ社会的知能・合理性

オーガナイザ:高橋 泰城

B-1-1 情報カスケードと相転移

○守 真太郎(弘前大学), 久門 正人(Fintech LLC), 高橋 泰城(北海道学)

B-1-2 社会学習エージェント系におけるナッシュ均衡とダイナミクス

○中山 一昭(信州大学), 守 真太郎(弘前大学)

B-1-3 Physical reservoir computing の数理

○中嶋 浩平(東京大学)

B-1-4 神経経済学における合理性と知能

○高橋 泰城(北海道大学)

15:00~17:05

B-2 地域社会での ICT 手法の定着へ向けたオープンイノベーション

ー滋賀県での取り組みを基にしてー

オーガナイザ:酒井 道

B-2-1 地域社会の中での ICT 手法の位置取りと取り組み例

秋山 毅(滋賀県立大学), 鵜飼 修(滋賀県立大学), 大脇万起子(滋賀県立大学), 小郷原 一智(滋賀県立大学), 小澤 恵子(滋賀県立大学), 小林 孝子(滋賀県立大学), ○酒井 道(滋賀県立大学), 繁田 光浩(滋賀県立大学), 砂山 渡(滋賀県立大学), 高橋 卓也(滋賀県立大学), 中井 均(滋賀県立大学), 西岡 靖貴(滋賀県立大学), 橋本 宣慶(滋賀県立大学), 畑中 裕司(滋賀県立大学), 濱崎 一志(滋賀県立大学), 福岡 克弘(滋賀県立大学), 南川 久人(滋賀県立大学), 宮城 茂幸(滋賀県立大学), 森本 安紀(滋賀県立大学), 安田 寿彦(滋賀県立大学), 山根 浩二(滋賀県立大学), 山野 光裕(滋賀県立大学), 酒井 道(滋賀県立大学)

B-2-2 データサイエンスの学術基盤構築・教育実践と実施例

○竹村 彰通(滋賀大学), 齋藤 邦彦(滋賀大学)

B-2-3 ICT 分野に関するさまざまな教育実践とその効果

○島川 博光(立命館大学)

B-2-4 地域における官民協働 ICT プラットフォーム構築の可能性

○藤澤 栄一(近江ディアイ株式会社)

B-2-5 高齢者の活性化を促進する価値共創モデルの実践 ー歌声サロン活動とサービス視点ー

○藤井 美樹(北陸先端科学技術大学院大学), 小坂 満隆(北陸先端科学技術大学院大学)

12月2日(土)

C室(217教室:2F)

9:10~10:50

C-1 情報科学における技術的特異点と限界突破

オーガナイザ: 松原 崇充

C-1-1 幾何変換の回帰分析とその応用

○船富 卓哉 (奈良先端科学技術大学院大学)

C-1-2 臨床用CT画像を用いた患者個別の筋線維走行の解析

○大竹 義人 (奈良先端科学技術大学院大学), 横田 太 (奈良先端科学技術大学院大学), 福田 紀生 (奈良先端科学技術大学院大学), 高尾 正樹 (大阪大学), 高木 周 (東京大学), 山村 直人 (東京大学), O'Donnell Lauren (Brigham & Women's Hospital, Boston, USA), Westin Carl-Fredrik (Brigham & Women's Hospital, Boston, USA)

C-1-3 サンプル効率の良い強化学習と実ロボット応用

○松原 崇充 (奈良先端科学技術大学院大学)

C-1-4 生活支援ロボットを実現するための家政学的見地からみた技術的特異点

○高松 淳 (奈良先端科学技術大学院大学)

15:00~16:15

C-2 構造物に依存しないソフト防災の現状と課題と可能性

オーガナイザ: 有馬 昌宏

C-2-1 リアルタイム地震出火予測手法の検討

○廣井 悠 (東京大学)

C-2-2 ソーシャル・キャピタルと防災・災害復興

○川脇 康生 (関西国際大学)

C-2-3 地域防災活動への参加誘因に関する研究

○豊田 祐輔 (立命館大学)

16:25~17:40

C-2-4 熊本地震の振り返りから見る「想定外のマネジメント」(1)

○中西 晶 (明治大学), 北村 士朗 (熊本大学)

C-2-5 熊本地震の振り返りから見る「想定外のマネジメント」(2)

○北村 士朗 (熊本大学), 中西 晶(明治大学)

C-2-6 防災アプリはソフト防災にどこまで貢献できるか? -防災アプリの可能性と課題-

○有馬 昌宏 (兵庫県立大学)

12月2日(土)

D室(218教室:2F)

9:10~10:50

D-1 人間共生型社会を実現する記号学と人工知能

オーガナイザ: 深尾 隆則

D-1-1 次世代人工知能と記号学

○谷口 忠大 (立命館大学)

D-1-2 対象の状態変化を伴う道具の操りプロセスの記述・想起・再現

○島田 伸敬 (立命館大学), 松尾 直志 (立命館大学)

D-1-3 自動運転と手動運転をつなぐ権限共有モード: スムーズな権限委譲のために

○和田 隆広 (立命館大学)

D-1-4 自動運転における計測・制御・知能化技術

○深尾 隆則 (立命館大学)

15:00~16:40

D-2 生物って?, ロボットって?

オーガナイザ: 大須賀 公一

D-2-1 昆虫のゾンビ化によって生物の行動発現の源泉を探る

○大須賀 公一 (大阪大学)

D-2-2 昆虫の骨格構造を使った超高速運動のカラクリ

○青沼 仁志 (北海道大学)

D-2-3 クロコオロギの闘争行動に介入可能な移動ロボットシステムの開発にむけて

○杉本 靖博 (大阪大学), 浪花 啓介 (大阪大学), 青沼 仁志 (北海道大学), 大須賀 公一 (大阪大学)

D-2-4 ムカデ型ロボット i-CentiPot: 機械から生物へ

○大須賀 公一 (大阪大学), 衣笠 哲也 (岡山理科大学), 林 良太 (岡山理科大学), 吉田 浩治 (岡山理科大学), 大脇 大 (東北大学), 石黒 章夫 (東北大学)

9:10~10:50

E-1 リモートセンシングに係る社会の発展・文化の深化への寄与 オーガナイザ:伊東 明彦

E-1-1 リモートセンシングに係る知の統合への期待

○伊東 明彦 (日本リモートセンシング学会)

E-1-2 ベトナム フェ市における生活空間の分布状況

○桑原 祐史(茨城大学), 佐久間 東陽(茨城大学), Wudabalaqiqige(茨城大学)

E-1-3 人口減少社会での都市の新たな発展形態と衛星からのモニタリング

○熊谷 樹一郎 (摂南大学)

E-1-4 文化財保全における空間情報の活用について-城郭石垣保全での UAV の活用-

○笠 博義 (安藤ハザマ)ほか

15:00~17:05

E-2 ICT メディカル・ヘルスケア

オーガナイザ:田中 覚

E-2-1 裸眼立体視による半透明可視化の奥行き知覚

○長谷川 恭子 (立命館大学), 北浦 優理奈 (立命館大学), 中島 由衣 (立命館大学), 坂野 雄一 (NICT), 安藤 広志 (NICT), Lopez-Gulliver Roberto (立命館大学), 田中 覚 (立命館大学)

E-2-2 扁平足のモデリングと手術シミュレーション

○王 忠奎 (立命館大学), 城戸 優充 (京都府立医科大学), 今井 寛 (京都府立医科大学), 生駒 和也 (京都府立医科大学), 平井 慎一 (立命館大学)

E-2-3 レベル集合制約を用いた辞書学習型 CS-MRI

○柴田 基 (立命館大学), 北原 大地 (立命館大学), 平林 晃 (立命館大学)

E-2-4 操作履歴からユーザに適応する舌操作型ポインティングデバイス

小川 陽子 (立命館大学), ○島田 伸敬 (立命館大学)

E-2-5 歩行の習慣づけにむけた歩数と外的要因の関係性の分析

松村 耕平 (立命館大学), 鈴木 真生 (立命館大学), 杉山 治 (京都大学医学部附属病院), ○野間 春生 (立命館大学)

12月2日(土)

F室(大講義室:4,5F)

12:25~13:15

特別講演

「いけばな ~2020年それ以降に向けて~」
華道「未生流笹岡」家元 笹岡隆甫氏

13:20~14:50

プレナリーパネル討論

「社会的課題解決に向き合う学術の新しい潮流 ~「知の統合」の人材育成と推進への期待~」
司会:

中央大学研究開発機構教授, 日本学術会議連携会員 原辰次氏

パネリスト:

科学技術振興機構副理事, 日本学術会議副会長

渡辺美代子氏

(株)日立製作所研究開発グループ技術戦略室長

赤津雅晴氏

東京大学 数理・情報教育研究センター特任教授, 明治大学 MIMS 所員

北川源四郎氏

情報・システム研究機構監事, 横幹連合会長, 日本学術会議連携会員

鈴木久敏氏

慶応大学理工学部物理情報工学科助教

堀豊氏

大阪大学大学院博士後期課程「超域イノベーション博士課程プログラム」履修生 澤井伽奈氏

15:00~17:00

F-1 パネル討論

「システム科学技術 —システムの時代に向けて—」

オーガナイザ:

神戸大学 玉置久氏

京都工芸繊維大学 黒江康明氏

京都大学 樫木哲夫氏

パネリスト:

東京大学 青山和浩氏

JFE スチール(株) 浅野一哉氏

京都大学 塩瀬隆之氏

東京工業大学 出口弘氏

18:00~

ポスターセッション

ポスターチェア：安藤英由樹

IDにSのついている発表は、学生ポスター発表賞の対象ポスターとなります。

- P-01 三次元環境を移動可能な吸盤6脚ロボット
○齋藤 明日希 (法政大学), 永山 和樹 (法政大学), 伊藤 一之 (法政大学), 大道 武生 (名城大学), 芦澤 怜史 (名城大学), 松野 文俊 (京都大学)
- P-02S 白川フォントの画像データに基づく手書き篆書文字検索支援
○李 康穎 (立命館大学), バトジャルガル ビルゲサイハン (立命館大学), 前田 亮 (立命館大学)
- P-03 実測ビッグデータを活用した、アジア歴史文化遺産のデジタルミュージアム研究開発
○田中 覚 (立命館大学)
- P-04S 陰関数曲面補間を利用した高曲率領域抽出による3次元点群の凹凸強調可視化
○渡邊 達彦 (立命館大学), 田中 覚 (立命館大学), 長谷川 恭子 (立命館大学), 李 亮 (立命館大学)
- P-05S 高齢者の活性化を促進する価値共創モデルの実践
○藤井 美樹 (北陸先端科学技術大学院大学), 小坂 満隆 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P-06 全体最適のための学際研究論文の非要素還元型評価に関する基礎的研究
○鈴木 羽留香 (同志社大学イノベティブ・コンピューティング研究センター, 千葉商科大学商経学部(経済研究所兼任), 立命館大学政策科学部(OIC総合研究機構兼任))
- P-07S 3Dプリンタを使用したアイデアコンテストにおける共創と考察-FAB3Dコンテストにおける事例-
○中村 翼 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P-08 互助型認知症セーフティネットづくりのモデル取組み-神奈川県藤沢市の事例から-
○寺田 里佳子 (北陸先端科学技術大学院大学・パナソニック)
- P-09S 環境心理調査手法の応用による感性要求の特定-建築におけるインテリアデザインの事例
○由田 徹(北陸先端科学技術大学院大学), 前川 正実(北陸先端科学技術大学院大学), 土田 義郎 (金沢工業大学), 永井 由佳里 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P-10S 製品開発における新技術導入の為のマネジメント -自動車会社A社の車載ICT製品開発の事例研究-
○大村 英雄 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P-11S 大学公開講座を支援するオンラインプラットフォームの開発と評価
○門松 怜史 (北陸先端科学技術大学院大学)
- P-12S 主観的幸福度と社会関係資本の関係-欧州4か国とアジア3か国での実地調査-
○田中 紫織 (東京工業大学), 時松 宏治 (東京工業大学)
- P-13 熊本地震の振り返りから見る「想定外のマネジメント」(1)
○西 晶 (明治大学), 北村 士朗 (熊本大学)
- P-14S 深層学習技術を用いたCT画像からの肝臓腫瘍候補の検出
○轟 佳大 (立命館大学), 韓 先花 (山口大学), 岩本 祐太郎 (立命館大学), Lanfen Lin (中国浙

江大学), Hongjie Hu (中国浙江大学附属病院), 陳 延偉 (立命館大学)

P-15S ワーキングメモリタスク中の閉眼、開眼による生理状態の差異

○大西 一哉 (立命館大学), 萩原 啓 (立命館大学)

P-16S 粒子機械拘束要素を用いた fNIRS プロブホルダの開発

○徐 津波 (立命館大学), 満田 隆 (立命館大学)

P-17S NCPR 講習に利用可能な 安価で効果的なシミュレーション教育システムの開発

○西本 騰 (立命館大学), 野間 春生 (立命館大学), 松村 耕平 (立命館大学), 岩永 甲午郎 (京都大学)

P-18S 操作履歴からユーザに適應する舌操作型ポインティングデバイス

○小川 陽子 (立命館大), 島田 伸敬 (立命館大学)

P-19 重度四肢機能障害者のための舌操作型入出力デバイス

○横田 加保子 (立命館大学), 小川 陽子 (立命館大学), 島田 伸敬 (立命館大学)

P-20S 部分粒子法による流体のシミュレーション

○金築 康友 (立命館大学), Wells John C. (立命館大学), 仲田 晋 (立命館大学)

P-21S 手指リハビリのための非接触かつ自動的な親指先可動範囲計測装置の開発

○浅野 奈生 (立命館大学), 小川 陽子 (立命館大学), 松尾 直志 (立命館大学), 島田 伸敬 (立命館大学)

P-22 立命館大学 先端 ICT メディカル・ヘルスケアセンター紹介

○田中 寛 (立命館大学)

P-23 情報技術と Well-Being

○安藤 英由樹 (大阪大学), 渡邊 淳司 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所), チェン ドミニク (早稲田大学), 青山 一真 (明治大学)

P-24 健康デジタルサイネージにおけるインタラクションの設計

○伊藤 研一郎 (慶應義塾大学大), 小木 哲朗 (慶應義塾大学)

P-25S 確率的潜在意味解析法 (PLSA) による健康行動促進モデル構築に向けた健康関連データの分析

○松尾 亮輔 (北陸先端科学技術大学院大学), 金井 秀明 (北陸先端科学技術大学院大学), 小坂 満隆 (北陸先端科学技術大学院大学), 高安 剛 (株式会社インテック), 関口 志穂里 (株式会社インテック), 村元 浩 (株式会社インテック)

P-26S 機械学習を用いた可視化図の理解容易性判定

○青山 望 (京都大学), 上野 裕貴 (京都大学), 梅澤 浩然 (京都大学), 尾上 洋介 (京都大学), 小山田 耕二 (京都大学)

P-27S ガンマ分布のパラメータの精密高速計算

○小平 悠水 (中央大学), 鎌倉 稔成 (中央大学)

P-28S 方向データにおける多標本の平均の検定

○秋元 良友 (中央大学), 鎌倉 稔成 (中央大学)

12月3日(日)

A室(213教室:2F)

9:30~11:35

A-3 社会シミュレーション

オーガナイザ:遠藤 薫

- A-3-1 「持続可能な社会」とシミュレーション
○遠藤 薫 (学習院大学)
- A-3-2 エージェント・ベース・モデリングで社会現象を識る
○寺野 隆雄 (東京工業大学情報理工学院)
- A-3-3 データ分析を社会のシミュレーションに利用する
○佐藤 彰洋 (京都大学, 科学技術振興機構さきがけ)
- A-3-4 人工社会が予測する都市の動態
○倉橋 節也 (筑波大学)
- A-3-5 シミュレーション技術を応用した3次元文化財の透視可視化
○田中 覚 (立命館大学)

13:00~14:15

A-4 一般講演2

座長:飯田 豊

- A-4-1 バッテリ交換型電動バイクの最良走行計画構築に関する研究
○山岸 富士雄 (首都大学東京), 森 泰親 (首都大学東京)
- A-4-2 Safety 2.0 適合マーク審査登録制度の概要
○梶屋 俊幸 (パナソニック株式会社)
- A-4-3 製品情報と運用情報の組み合わせ探索による設計手法の研究
(第4報:双対設計工学の提案と可能性について)
○角 有司 (宇宙航空研究開発機構), 青山 和浩 (東京大学)

15:15~16:30

A-5 経営高度化へのマトリクス・アプローチと意思決定プロセス化の研究

オーガナイザ:大場 允晶

- A-5-1 松井の方程式のSW体図解:物理素粒子体式例、企業体・物理体の双対系鎖と需給格子解構造
○松井 正之 (神奈川大学)
- A-5-2 マトリクスアプローチによるサプライチェーンの評価
○石井 信明 (神奈川大学), 大場 允晶 (日本大学), 藤川 裕晃 (東京理科大学)
- A-5-3 在庫価値評価モデルによるプラスチック・ワイヤー製造の収益性評価の研究
○大場 允晶 (日本大学), 中邨 良樹 (青山学院大学), 熊谷 敏 (青山学院大学)

12月3日(日)

B室(214教室:2F)

9:30~11:35

B-3 エネルギー需給システムにおける経済モデルと物理モデル オーガナイザ:大塚 敏之

- B-3-1 電力市場における分散的最適価格設定法と需給制御 ○滑川 徹(慶應義塾大学)
- B-3-2 モラルの経済モデリング:
インセンティブ付与による自発的環境配慮行動のクラウドディング・アウト分析
○澤田 英司(九州産業大学)
- B-3-3 合意アルゴリズムの収束性解析とEMS応用
○花田 研太(大阪大学), 和田 孝之(大阪大学), 増淵 泉(神戸大学), 浅井 徹(名古屋大学),
藤崎 泰正(大阪大学)
- B-3-4 実験, 行動経済学による省エネ行動の要因分析 ○田中 健太(武蔵大学経済学部)
- B-3-5 需要家特性のオンライン推定によるリアルタイムプライシング
里内 亮(国際石油開発帝石), 河野 佑(フローニンゲン大学), ○大塚 敏之(京都大学)

13:00~15:05

B-4 異分野をつなげる動的システム論 オーガナイザ:大塚 敏之

- B-4-1 非線形確率システムの考え方と応用 ○佐藤 訓志(大阪大学)
- B-4-2 ロバスト分岐解析:制御・力学系分野の融合研究として ○井上 正樹(慶應義塾大学)
- B-4-3 非負システムの理論と応用 ○蛭原 義雄(京都大学)
- B-4-4 利己的エージェント集団のゲームモデルとその制御 ○金澤 尚史(大阪大学)
- B-4-5 実時間最適化の考え方と応用 ○大塚 敏之(京都大学)

15:15~16:55

B-5 イノベーションデザイン オーガナイザ:永井 由佳里

- B-5-1 イノベーション創出能力自己評価値の経時変化
○前川 正実(北陸先端科学技術大学院大学), 永井 由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)
- B-5-2 シェアリング・エコノミーのユーザー・イノベーションへの影響
○今村 新(北陸先端科学技術大学院大学), 永井 由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)
- B-5-3 コネクテッド・イノベーションと技術認識フレーム
○深見 嘉明(立教大学大学院ビジネスデザイン研究科)
- B-5-4 全体最適のための学際研究論文の非要素還元型評価に関する基礎的研究
○鈴木 羽留香(同志社大学イノベティブ・コンピューティング研究センター, 千葉商科大学商経学部(経済研究所兼任), 立命館大学政策科学部(OIC 総合研究機構兼任))

9:30~12:00

C-3 ImPACT TRC 太索状ロボット研究開発の現状と将来展開 1 オーガナイザ:松野 文俊

C-3-1 ImPACT TRC 太索状ロボット研究開発の現状と将来展開

○松野文俊(京都大学), 亀川哲志(岡山大学), 田中基康(電気通信大学), 奥乃博(早稲田大学), 多田隈建二郎(東北大学), 伊達央(筑波大学), 有泉亮(名古屋大学), 伊藤一之(法政大学), 大道武生(名城大学), 芦澤怜史(名城大学), 鈴木陽介(金沢大学), 糸山克寿(京都大学), 藤原始史(京都大学), 坂東宜明(京都大学), 竹森達也(京都大学), 藤田政宏(東北大学)

C-3-2 螺旋捻転運動で配管内を移動するヘビ型ロボットの構築

○亀川 哲志 (岡山大学), 斉 偉 (岡山大学), 須原 大貴 (岡山大学), 松田 絵梨子 (岡山大学), 秋山 太一 (岡山大学), 酒井 聡志 (岡山大学)

C-3-3 複雑環境を移動する ImPACT TRC ヘビ型ロボットの開発と制御

○竹森 達也 (京都大学), 田中 基康 (電気通信大学), 松野 文俊 (京都大学)

C-3-4 ImPACT TRC 車輪型索状ロボットの開発と制御

○田中 基康 (電気通信大学), 中島 瑞 (電気通信大学), 田中 一男 (電気通信大学)

C-3-5 ヘビ型ロボットのオドメトリと遠隔操作支援

○伊達 央 (筑波大学), 阿部 太郎 (筑波大学)

C-3-6 方向なじみ式グリッパ機構 — 索状ロボ搭載におけるシンプル化の過程の実際 —

○多田隈 建二郎 (東北大学), 藤田 政宏(東北大学), 藤本 敏彰(東北大学), 西村 礼貴(東北大学), 野村 陽人(東北大学), 鉄井 光(東北大学), 清水 杜織(東北大学), 高根英里(東北大学), 小松 洋音(東北大学), 昆陽 雅司(東北大学), 田所 論(東北大学)

13:00~15:05

C-4 ImPACT TRC 太索状ロボット研究開発の現状と将来展開 2 オーガナイザ:松野 文俊

C-4-1 ImPACT TRC における太径索状ロボットのアクチュエータ故障診断

○有泉 亮 (名古屋大学), 渡邊 孝裕 (名古屋大学), 田中 基康 (電気通信大学), 浅井 徹 (名古屋大学)

C-4-2 配管内探査ロボットのための音響センサを用いた自己位置推定

○坂東 宜昭 (京都大学), 須原 大貴 (岡山大学), 亀川 哲志 (岡山大学), 糸山 克寿 (京都大学), 吉井 和佳 (京都大学), 松野 文俊 (京都大学), 奥乃 博 (早稲田大学)

C-4-3 配管内検査のためのヘビ型ロボットの遠隔操作インタフェース

○藤原 始史 (京都大学), 竹森 達也 (京都大学), 斉 偉 (岡山大学), 亀川 哲志 (岡山大学), 鈴木 陽介 (金沢大学), 坂東 宜昭 (京都大学), 奥乃 博 (早稲田大学), 松野 文俊 (京都大学)

C-4-4 三次元環境を移動可能な吸盤6脚ロボット

○永山 和樹 (法政大学), 齋藤 明日希 (法政大学), 伊藤 一之 (法政大学), 大道 武生 (名城大学), 芦澤 怜史 (名城大学), 松野 文俊 (京都大学)

C-4-5 壁面移動ロボットのための吸着コンポーネントの開発

○芦澤 怜史 (名城大学), 鈴木 駿也 (名城大学), 榊原 光騎 (名城大学), 柴田 和志 (名城大学), 林 東駿 (名城大学), 大道 武生 (名城大学)

15:15~16:55

C-5 望まれる持続可能な社会の実現に向けて

オーガナイザ：増井 利彦

C-5-1 主観的幸福度と社会関係資本の関係 —欧州4か国とアジア3か国での実地調査—

○田中 紫織 (東京工業大学), 時松 宏治 (東京工業大学)

C-5-2 地域の持続可能性とより良い暮らしの指標

○松橋 啓介 (国立環境研究所)

C-5-3 ICTサービス利用による環境および経済への影響 ～リバウンド効果と波及効果の融合評価～

○篠塚 真智子 (日本電信電話株式会社), 折口 壮志 (日本電信電話株式会社), 棟居 洋介 (東京工業大学), 金森 有子 (国立環境研究所), 増井 利彦 (国立環境研究所)

C-5-4 日本における持続可能性評価のためのモデル開発

○増井 利彦 (国立環境研究所)

12月3日(日)

D室(218教室:2F)

9:30~11:35

D-3 超スマート社会の実現に向けた、エネルギーのモデリング・最適化

オーガナイザ: 榊原 一紀

D-3-1 超スマート社会の実現に向けたエネルギーシステムのモデリング・最適化

○榊原 一紀(富山県立大学), 玉置 久(神戸大学)

D-3-2 最適化モデルを用いた日本の将来の電力システムに対する一考察

○宇田川 佑介(株式会社 構造計画研究所), 西辻 裕紀(株式会社 構造計画研究所), 請川 克之(株式会社 構造計画研究所), 荻本 和彦(東京大学)

D-3-3 超スマート社会の予測・制御に向けた多次元階層的ネットワーク性に基づく大規模システムのモデリング

○小島 千昭(富山県立大学)

D-3-4 分散型エネルギーグリッドシステム導入の定量的評価のための数理計画モデル

○大原 誠(神戸大学), 岩瀬 勇毅(神戸大学), 谷口 一徹(大阪大学), 松本 卓也(創発システム研究所), 榊原 一紀(富山県立大学), 長廣 剛(神戸大学), 玉置 久(神戸大学)

D-3-5 将来の不確実性を考慮した地方自治体における低炭素型エネルギーシステム計画モデルの開発

○田中 渉太(富山県立大学大学院), 立花 潤三(富山県立大学大学院), 浦 和哉(株式会社 環境総合テクノス), 榊原 一紀(富山県立大学大学院)

13:00~14:15

D-4 新しいもの造りを目指す Safety2.0

オーガナイザ: 高橋 聖

D-4-1 Safety2.0 の概念と鉄道における事例

○中村 英夫(日本大学)

D-4-2 セーフティグローバル推進機構(IGSAP)における安全への取組み

○向殿 政男(明治大学)

D-4-3 (株)NIPPOにおける Safety2.0 への取組み ~舗装用機械の自動停止システムを中心として~

○泉 秀俊(株)NIPPO), 相田 尚(株)NIPPO), 宮本 多佳(株)NIPPO)

15:15~16:55

D-5 「場のイノベーション」を考える

オーガナイザ: 小林 直人

D-5-1 場のイノベーション: 実践的協創スキームの戦略デザイン

○菊池 純一(青山学院大学)

D-5-2 価値創造の仕組み

○竹林 一(オムロン株式会社)

D-5-3 オープンイノベーションを促進する「場」の最近の変容について

○山口 泰久((株)FFGベンチャービジネスパートナーズ)

D-5-4 動きのある「場」のプロデュース ~中部圏におけるイノベーション推進事例をもとに~

○大津留 榮佐久((一社)OSTi)

12月3日(日)

E室(307教室:3F)

9:30~11:10

E-3 シミュレーション&ゲーミングの可能性

オーガナイザ:松井 啓之

- E-3-1 人工市場 U-Mart を用いた教育と研究 ○松井 啓之 (京都大学 経営管理大学院)
- E-3-2 ビジネスゲームプラットフォーム YBG を用いた教育と研究
○田名部 元成 (横浜国立大学)
- E-3-3 社会シミュレーションプラットフォーム SOARS を用いた教育と研究
○市川 学 (国立保健医療科学院), 出口 弘 (東京工業大学)
- E-3-4 コミュニティ防災用シミュレーション&ゲーミングを用いた教育と研究
○豊田 祐輔 (立命館大学)

13:00~15:05

E-4 文化とコンピューティング 1

オーガナイザ:田中 覚

- E-4-1 実測ビッグデータを活用した、アジア歴史文化遺産のデジタルミュージアム研究開発
○田中 覚 (立命館大学)
- E-4-2 ソフトウェアレンダリングを用いた点群データの軽量化 ○宮地 英生 (東京都市大学)
- E-4-3 アジア歴史文化遺産のデジタルドキュメンテーション ○山口 欧志 (奈良文化財研究所)
- E-4-4 染色デザインの世界的連環の研究 - 「アフリカン・プリント」、型紙を中心に-
○鈴木 桂子 (立命館大学)
- E-4-5 複数言語からなるデジタルコレクションからの同一浮世絵作品の同定手法
○Song Yuting (立命館大学), Batjargal Biligsaikhan (立命館大学), 前田 亮 (立命館大学)

15:15~16:05

E-5 文化とコンピューティング 2

オーガナイザ:田中 覚

- E-5-1 アジアの宗教建築・美術における山岳崇拜 ○西林 孝浩 (立命館大学)
- E-5-2 日本の人文系データベースへのバイリンガル並列アクセスの実現 -横断検索システムの開発-
○バトジャルガル ビルゲサイハン (立命館大学), 前田 亮 (立命館大学)

12月3日(日)

F室(大講義室:4,5F)

9:30~11:35

F-2 健康ビッグデータ分析とヘルスケア

オーガナイザ: 小木 哲朗, 渡辺 美智子

F-2-1 歩数増加のための目標値の設定と、歩数増加パターン抽出の試み –横断・縦断データの分析を通じて–

○大橋 洸太郎 (立教大学), 小熊 祐子 (慶應義塾大学), 渡辺 美智子 (慶應義塾大学)

F-2-2 活動量計ログデータに基づく週内活動パターンの類型化と体組成変動への影響

○野村 俊一 (統計数理研究所/慶應義塾大学), 渡辺 美智子 (慶應義塾大学), 小熊 祐子 (慶應義塾大学)

F-2-3 多次元データ分析における没入型可視化環境の効果

○米田 巖根 (慶應義塾大学), 伊藤 研一郎 (慶應義塾大学), 佐藤 創 (慶應義塾大学), 当麻 哲哉 (慶應義塾大学), 小木 哲朗 (慶應義塾大学)

F-2-4 健康デジタルサイネージにおけるインタラクションの設計

○伊藤 研一郎 (慶應義塾大学大学院), 小木 哲朗 (慶應義塾大学大学院)

F-2-5 活動量計およびスマートフォンを用いたライフスタイル向上プログラムの実証

○今野 浩子 (慶應義塾大学), 堀尾 大悟 (学校法人五大), 傳 裕之 (イサナドットネット株式会社), 神武 直彦 (慶應義塾大学)

13:00~15:05

F-3 横幹連合「コトづくり」至宝に関する取り組みとその準備状況

オーガナイザ: 川中 孝章

F-3-1 「コトづくり」の系譜と認定事業

○鈴木 久敏 (情報・システム研究機構)

F-3-2 至宝認定事業の活動状況について

○六川 修一 (東京大学), 川中孝章 (東京大学)

F-3-3 「コトづくり」至宝事業の枠組みについての検討状況

○蘆澤 雄亮 (芝浦工業大学)

全体討論